

「ちばエコ農産物」栽培のために！ (品目別栽培カード 34)



えだまめ・露地栽培

千葉県農林水産部

1 栽培基準

えだまめの「ちばエコ農産物」の栽培基準は、ハウス栽培、トンネル栽培、マルチ栽培、露地栽培で設けられています。

露地栽培における化学合成農薬の使用成分回数と化学肥料使用量(窒素分量)は、表1のとおりです。



▲えだまめの露地栽培

表1 えだまめ・露地栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準

(平成24年4月現在)

作型	上 限 量		堆肥目安量(kg/10a)			
	化学合成農薬 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分kg/10a)	牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり 的堆肥
露地	5(4)	3	800	300	200	1,000

注) カッコ内は購入苗の場合

2

栽培基準達成のポイントと考え方

1 病虫害防除

「ちばエコ農産物」の栽培基準に適合した農薬防除例を表2に示します。

栽培基準となる化学合成農薬使用成分回数で防除を行うためには、カメムシ類などの害虫の特徴を理解し、発消長をよく観察して、適期に防除すること等により、殺虫剤の使用回数を減らすことが重要です。病害では、特に問題となる病害はありません。

化学合成農薬を削減するため、アブラムシ類やハダニ類が発生した場合には、粘着くん液剤のような、「ちばエコ農産物」栽培基準における化学合成農薬に含めない農薬の活用も有効です。

表2 えだまめ・露地栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した農薬防除例

処理時期	主要作業	農薬名	10a当たり使用量 (希釈倍数等)	対象病虫害	備考
	土壌消毒	D-D	15~20L	ダイズシストセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	発生に応じて使用
5月中旬	生育期	スミチオン乳剤	1,000~2,000倍	アブラムシ類 マメシクイガ ウコンノメイガ カメムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ マメヒメサヤムシガ	
6月中旬		トレボンMC	1,000倍	カメムシ類 ハスモンヨトウ マメシクイガ	
6月下旬		キラップフロアブル	2,000倍	カメムシ類	
7月上旬		スタークル顆粒水溶剤	2,000~3,000倍	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ	

● 土壌消毒をしてほ場準備

連作すると土壌害虫であるダイズシストセンチュウが発生するので、連作を避けて土壌中の密度を下げるように努めます。また、D-Dを10aあたり20L（2ml／穴）注入して、土壌中のダイズシストセンチュウを防除します。また、前作に対抗植物（ネマキングなど）を取り入れて密度低下に努めることも有効です。



▲ えだまめにつくカメムシ

● 害虫は防虫ネットで防ぐ

開花が終了し、莢ができて始めるころにカメムシ類に吸汁されると、莢の生育が止まり落莢したり、マメにキズができてしまったりするため、注意が必要です。

また、ヨトウガ等のチョウ目にも注意が必要です。

これらの防除のために、慣行栽培ではこまめな薬剤散布を行います。防虫ネットを使用することで、農薬散布回数を、表2より更に減らすことができます。ネットは2.0mm目合いの防虫ネットを使用し、定植直後からトンネル被覆して、害虫の侵入を防ぎます。



▲ シロイチモジマダラメイガによる被害莢



▲ 防虫ネットによる防除

2 施肥と土づくり

「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例を表3に示します。堆肥による土づくりに加えて、有機質肥料の施用により、「ちばエコ農産物」の栽培基準の達成が可能です。

なお、表3の施用例は主要農作物等施肥基準（平成21年、千葉県）の施肥量に準じていますが、前作の残肥等によって必要な施肥量が異なりますので、各ほ場の施肥量は土壌診断に基づいて決めます。

また、登録名称内に「有機」などの文字が記載された肥料であっても、化学肥料由来の窒素を含んでいることが多いので、JAまたは肥料販売業者に問い合わせ、有機質由来と化学肥料由来の窒素の割合を把握しておく必要があります。

表3 えだまめ・露地栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥と肥料の施用例

区分	製品名	保証成分量(%)			現物施用量 (kg/10a)	成分施用量(kg/10a)		
		窒素	りん酸	加里		窒素	りん酸	加里
堆肥	牛ふん稲わら堆肥				800			
基肥	味好1号	6(0)	8	4	17	1(0)	1.4	0.7
	化成13号	3(3)	10	10	100	3(3)	10.0	10.0
	粒状過リン酸石灰		17.5		21	0	3.6	0.0
	硫酸加里			50	5	0	0.0	2.5
	苦土石灰				60	0	0.0	0.0
総施用量						4(3)	15.0	13.2

注) () 内は、総窒素量のうち、化学肥料由来の窒素成分量

☆この「品目別栽培カード」に記載した農薬・肥料使用例は、平成23年度現地実証試験時点のものです。実際の農薬使用に際しては、ラベルの表示をよく確認するとともに、最新の農薬使用基準を守って使用してください。
なお、栽培基準は平成24年4月改訂後のものを記載しています。

- 著 作 千葉県農林水産部担い手支援課
千葉県農林総合研究センター
- 編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課
- 発行年月日 平成25年1月

■内容についての問い合わせ先
千葉県農林総合研究センター
TEL. 043(291)9987



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

CHIBAちば